



九月例会

9月14日（金）尾道国際ホテルにて開催された9月例会では神戸学院大学の船木伸江先生に「防災マインド向上計画」というテーマのもと講演いただきました。私たち社会開発委員会も船木先生と同様に市民の防災意識を向上させるためにはまずは学校教育から取り組むのが最善との考えに至りました。「知っていれば救えた命がある」から

です。

尾道市も7

月の豪雨災害は多くの地域で土砂崩れが

起こり、また

多くの市民が

断水に苦しみ

ました。誤解を恐れずに言えば、これ

は良い教訓にもなったのではないかと

思います。しかし、災害の脅威がなく

なったわけではありません。南海トラ

フ大地震はいつおこってもおかしくな

いのです。その時には、水だけでなく

電気やガス、通信、交通も日常通りに

は使えなくなるということを意識して

おかねばなりません。

本例会は、私たち青年会議所メン

バーのほか、尾道市教育関係者、防災

関係者をお招きさせていただきまし

た。お集まりいただいた各団体が協力

することで防災教育の普及、発展の実

現が可能であるからです。

参加者の多くが、「防災意識向上に

は防災教育が有効である」という趣旨

に賛同していただいております。さら

に続く私たちの所管事業である防災出

前授業では、より大きな波紋を起こせ



るように邁進し、尾道の安全に寄与したいと思います。

（記事…社会開発委員会委員長 河原研介）



新理事研修

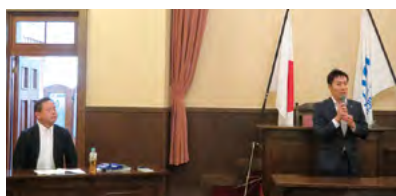
2日目

9月11日（火）、尾道商業会議所記念館で「新理事研修 第2研修」が開催されました。

第58代理事長を務められた安部昭一郎先輩をお招きし、ご自身の体験を踏まえ理事としての心構えだけでなく、実践的な委員会運営についてなど、理事としての具体的な事柄についても講演頂きました。

また、「新理事研修 第1研修」で委員長予定者に与えられた上程書の宿題について一つずつ丁寧に御講評を頂きました。

2日にかけての研修大変お疲れ様でございました。



防災授業

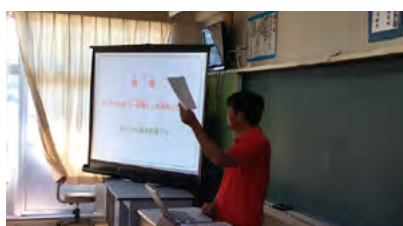
9月28日（金）社会開発委員会所管事業の1つである防災をテーマにした出前授業を尾道市立栗原小学校にて行いました。

今回は小学年（3年生）を対象に大地震に備えて家の中の危険を知ろうということと地震のメカニズムや過去の巨大地震の被害状況を解説したのち、1日で一番長く過ごす可能性の高い寝室で地震が起こったらどこが危ないかを部屋のイラストを見ながら児童に探してもらうグループワークを行いました。

西日本豪雨での断水を経験したこともあり防災に対する関心は非常に高く「帰ったら家族で家の中で危険なところがないか探したい。」と話す児童が多く見受けられました。

出前授業は中学年だけでなく小学年、低学年を対象とした授業も加え、今回の栗原小学校のほか日比崎小学校、高須小学校でも後日行う予定です。

（記事：社会開発委員会幹事 村橋聡）



9月8日（土）、公益社団法人日本青年会議所 中国地区コンファレンスが鳥取の地で開催されました。褒賞事業発表において、中国地区内54の青年会議所の中で、見事、2017年度地域の魅力創造委員会の事業「おのみちJC海と星空の映画祭」が地域の力漲る部門優秀賞を獲得しました！



2017年度工藤孝之委員長始めとする委員会メンバーの皆さん、おめでとうございます！

（記事：鍋島巧）



なんてったって女子力

レトロ可愛い!女子力アップの街、尾道!

古い町並みと、小路が素敵な『尾道』。古寺などの歴史遺産もしっかり守られながら、古い建物を生かした、新しい見所がたくさんある、新旧の魅力が融合する『尾道』。そんな尾道で自分時間を楽しむことが好きです。

レトロ可愛い街並み。迷路のような坂の路地を運動がてら歩いたり。歩くことはフィジカルにもメンタルにもよい刺激を与えてくれるようで、リラックス効果があったり、ストレスレベルも下がったり、また、気持ちを前向きにし、幸せを感じさせる効果があるエンドルフィンが脳内に分泌されるそうです。

さらに、傾斜がある尾道の坂道は下半身を引き締めダイエット効果も抜群!散策途中に、カフェを見つけたりも楽しみの1つです。猫の細道沿いにある庭園カフェ『ブーケ ダブル』さん。つみたてのハーブを使ったドリンクや有機玄米のおむすび、オーガニック素材にこだわったカフェでオープンテラスの席はまるで森の中にいるみたい。私は『マロウ&ローズ』というお花のハーブティがお気に入りです。体調を崩したときや、疲れたときにはハーブの効果がぴったりです。

細い入り組んだ道をテクテク歩いて立ち寄るカフェはどこも、味も空間もステキなとこばかり。古いお寺や町並みをぼーっと眺めていると時間が止まったように感じられてリラックスできます。古寺では、仏様のパワーもいただいて、尾道の工房、クリエイターが集うこの街には、メイドイン尾道の手仕事雑貨がありどれも温かみがあって好きです。

海と寺と坂が織り成す景観や、思わず写真を撮りたくなるスポットが広がる坂道めぐりが終わったら、大人シックが集まる港町へ。尾道の海側はスタイルのあるレストランやカフェがあり、歴史ある港町ならではの落ち着いた雰囲気と、活気あふれる新しい文化のふたつの不思議な時間が流れていて好きな場所です。ウッドデッキのある開放的なレストランWHARFさんでは、尾道水道を眺めながらのカキ三昧でビタミン、ミネラルをとって疲労回復、美肌効果、明日のキレイとエネルギーチャージをしてみたり海が見えるテラス席Yard cafeさんでは、瀬戸内の野菜や果物を使ったフレッシュジュースがあり、外の席でのんびり海を眺めながら過ごす時間だったり、コーヒ一片手に海辺を歩けばゆったりとした時間の流れを肌で感じられます。尾道ならではの魅力が詰まった海側。束の間の自分時間で自然美に癒され、心地よい海風に包まれて豊かな土地の恵みを味わい美肌効果。

尾道は女子力アップの宝庫です。レトロ可愛いも、大人シックもどちらの時間もおもいきり楽しめる。景観、空間、人情、日本が誇る美しさがある…それが尾道だと思っています。大切にしていきたい、私の故郷です。

(記事:会員資質向上委員会 二反田 恭子)



卒業生スピーチ



杉野原 猛

「こんばんは」
これを一言言ってみたくったのですが、僕は委員長を経験したことが無かったので、今日は言えなかったのだ、今日は言えなくていいと思っています。

来年からは卒業生として「こんばんわ」と言えるのうれしく思っています。

まずは入会した理由からお話致しますと、僕は「最初にJ.Cを知ったのは、お客様として来ていただいた来年度直前理事長の安本さんからJ.Cについて知っています」と言われ、J.C?僕ぐらいの頭だと、J.Cときいたら女子高生?いや中学?え?と思ったのですが、詳しく話を聞いたら青年会議所つて所でボランティアとかをするなど活動内容を聞きました。髪を切りに来てくれる度に教えてくださる安本さんのJ.Cの話を適当に流して聞いてました。

その後仕事も落ち着き始め、小林先輩に、「ここから仕事はどうしたらいいのですか?」と質問したところ、「J.Cに入れ」と言われ、「J.C入ったらええよ」と言われ、その時に「ハイ」と返事しました。

小林先輩は、怖い先輩という昔から僕をいい方向に進めてくれていたような先輩でしたので、入会の判断をしてしまいました。

そうすると、次の日にいきなり、高垣君が「入ることになったんじやろ?印鑑出して」と言われ、戸惑ったのですが、印鑑を押してとりあえず仮入会が決まりました。

不安になり、小林先輩に、「僕行かないといけないんですか?」と質問したところ、「この日だけ行け」と言われ、その言われた日に出席したのが仮入会ガイダンスの日で、皆がスーツでバリッと決まっていた、こは俺が来るころではないなと思ひ戸惑ってしまいました。

同期もみんなしっかりした人ばかりだったので、誰か一緒に辞めなかなと思ひ、小林先輩に無理だと思ひと電話したところ、飲みに誘われました。そして、居酒屋で、ああでもないこうでもない、仕事があるので無理ですよと話し、最初は親身に聞いてもらっていたので

すが、最後に「まあええやれ!こ〇〇〇!」と喝され、「はい、がんばります」と返事をしました。入会後、何もなくなってよいかと聞いていたのにも関わらず、幹事の役頂きまして、話が違ふとは先輩に言えませんでした。

J.C生活で僕がもつと上だった役は幹事でした。あとはただの委員で終わりました。

仕事も忙しくて、幹事の役割である、事務局へ鍵を取りにいけなことが多々あり、政成さんあの時(注)迷惑をおかけしました。色々ありがとうございました。

また、当時安本委員会で安本さんが、寝ずにいつも来ていて、目が充血し、悩む姿を見ると、J.Cはなんという組織だと思ひながら、1年間幹事を頑張りました。

2014年度の思ひ出は、政成さんが急にJA病院に入院し、吉原先輩に政成さんへ花を贈ろうと相談したところ、「あいつには花は似合わん」と言われ、何にしようかと考えた時に、そういえば政成さんは髪が伸びているかもしれないと思ひ、髪を切つてあげようと政成さんに電話すると、是非来てくださという事でお見舞いに行きました。

病院に行くとい00kgあった政成さんが痩せてすっきりして、自分で「ジョレンクシみたいでしょ」と言っていたので僕は苦笑いしてしまいました。その後、人工肛門をつけているところ見せられ、杉野原さんがはじめてみてもらえました」と喜んでもらいました。

これはダメなんでは、と思つたのですが、生きて元気になつてくれて良かったです。

2015年は吉原さんの委員会の時は農業でできたね。「パイパイを植えるに行くので仕事はついでいこうよ」と言われ、委員会行事はこんなことをするのかと困惑しました。

その後、吉原さんが日に日に痩せていき、委員長の大変さを感じながら、青山先輩が僕に「委員会が出るだけでも良いので、助けてあげようよ」と言われ、今までは行けるときにしか参加できてなかったのですが、行くだけでも必要としてくれるという事がわかり、悩んでいるときに聞き役に徹することでお役にたつていくことがわかり、より良いJ.C生活がおくれたと思つております。

僕の仕事が役立った思ひ出は、2014年の青山先輩が祭りの委員長の時、高垣さんからバリカン持ってきて頭にJ.Cという文字を入れてくれと頼まれ、何も知ら

ずにバリカンをもつて、神輿のところに行つたところ、いつも優しい青山先輩が激怒して「おれはええけん、慎也やれ！」と言っており、山本慎也さんと商店街の広場のトイレに行き、頭にJ.C.という文字を入らせてもらいました。良い大人がこんな場所で頭にバリカンでJ.C.といれるなんて思うとすごくほほえましかったです。その髪型を直しに来ていただいた後、お客様になつていただきました。山本さんありがとうございます。

次に2016年のクリスマス会で、また山本慎也君なんですが、バイナッブルの古坂魔王をやるので、パンチパーマを当ててくれという無茶苦茶なオーダーがあり、委員長は体張つて大変だなと思ひながら、しっかりパンチパーマをかけて送り出しました。

明日髪型を直してあげるよと言つていたので、バリカンが入つたので今日直してくれと急にオーダーが入りました。

プロとしてばつち直そうと思つていましたが、頭の真ん中が2mmくらいで縦にバリカンが入っており、さすがにこれは難しいと思ひながらも、面白かつたので、奇抜でも素敵な髪型にさせて頂きました。その素敵な写真があるので、もしよろしければ卒業の記念に総務の方ご利用ください。いい笑顔の山本慎也君だと思います。

僕は今年で卒業となりますが、卒業してから下の新しい人に「こんにちは！髪切りに来てください！」と気さくにお願ひできないのですが、僕は土地の事で、卒業生の高橋先輩に連絡したところ、めちゃくちゃ楽しく人々で、いろんな相談に乗ってくれました。高橋先輩にまた別の仕事をお願いしたら6クーポンでいいよと言つてくださり、6回カット無料という条件で仕事を請け負ってくれるという良い関係を築くことができました。

卒業生や年上の方に対して話す事が難しいと感じているかもしれませんが、卒業生はしゃべりたくてうずうずしていると思います。卒業してもとどろん絡んでください。よろしくお願ひいたします。

入会して、普段出会えないような方と仲良くなり、すごく良い先輩後輩が出来ました。いやいや入会しましたが、僕の中で充実した貴重な時間となりました。ありがとうございます。



河原 研介

こんばんは。まずはこのような機会を与えていただき、本当に有難うございます。こんなにも早く僕がこの場に立つ日が来るとは思つていませんでした。私がJ.C.に入つたきっかけは、なんとなくなんです。2012年に初めて幹事として高垣委員会、2013年に濱中委員会、2014石森委員会、2015年が武田大俊さん、2016年大西委員長と言つた具合にここまでのはりくらの感じで過してききました。出たり出なかつたりを繰り返しており、当時の委員長だけでなく、委員会メンバーの皆様には本当に迷惑をおかけしたと反省しております。失礼ついでに、括してお詫び申し上げます。本当に迷惑をおかけしました。

こんな僕でもまかつた出席はしていないわけではなくて、事業のお手伝いをさせていたこともなかつたわけではなく、さきほど杉野原君が言つたように、出るだけで仕事になるんだということを先輩からよく言われたと言つておりました。本当にその通りで、「顔を出すだけでも良いよ」とか、「アフターだけでもいいけい」という感じで、いつ出席しても、みんな快く、「おお！けんくんよう来たね！」つていうふうを迎え入れてくれた記憶がすごく多くて、すごい特別な組織だと思つていました。また様々な委員会や出回数を重ねていくと、自然と先輩とお話をする機会が年数分あるわけ、たぶん皆さん緒だと思ふんですけど、「入つたら理事した方がいいよね、するべきよね」つていう話をきくんです。2016年大西委員長のとときに僕も卒業がちらほら見え出し、皆さん卒業生スピーチで話されて、それなりに皆さん

思い入れがあつて、僕もこのまま卒業してもいいもんじやろうか、というように思ひに自然となつていても理事するのつてどうすりゃいいん？みたいなつて。で、8月の夏期講習から1年間例会に出席、ちゃんと全部出ればいいんですよ、そうすりゃ理事権もらえるよつて。「そうなんじゃ、やつてみようかな」つて、それが僕の決意の始まりというつて、そうこうしているうちにですね、2017年に突入するわけですね。で、僕が理事するつて、宣言、公言してましたから、いや、したい！するじゃなくしたい！と公言してましたから、自然と周りの人たちが、「あ、するんじゃ」「へー」つて。「何があつたん？」とかね、そういう感じで。みんな応援してくる空気を作つてくれて。で、2017年に工藤委員長にもすごくお世話になつたんですけど、さきもね、賞をね、映画での事業がね、すばらしい賞をいただいた、あと1000！通年出席！ね！その員になれたのは非常に運がよかったのかと思つています。でそんなこんなで僕も例会の出席を刻んでいくわけですけども、ついに理事選の日が来たということになります。

で夏期講習の次の日の総会に委員会ごとに畳に座つて。さあ、時の高垣監事から名前が読み上げられるのを、今か今かと待つ、といった趣向でございます。僕も河原の「か」行でたぶん加度さん、ですね。「加度亮平君」「加藤雄大君」「川崎耕平君」。次僕です。大体ね。

「島田元太君！？」 いや、ほんと僕も委員会メンバーも（理事を）出来るものだと思つてたんですけど、だから委員会メンバーちよとざわつきまして、ざわつたつて言うか僕のこと見れなかつたんじゃないかなつて思ひますね。僕はもう、得も言われぬ顔をしていたもんです。から、たぶんみんなどういうリアクションをとつていいか困つたんだと思ひます。で僕はこんな感じ悲しそうな顔で「ああおれもうJ.C.生活終わった」つて「無念」。みたいな感じで。うしてたら、工藤君が気が掛けてくれて「うそーなんで？研介さん、ええー？うそーマジで？」つて言つてくれて、それに僕も返す言葉が

なかつたんで「そういうことじゃけん」と言放ちました。で、それがですね、そのまま僕の名前は呼ばれることなくついに最後、つてなつて。でその後に高垣君が「それでは最後に、河原研介君」つて。僕ら委員会の中ではドツとなったんですけど、冷やかしか？悪ふざけ？これはたぶん演出していただいたんだと思ひます。で、そのときの「そういうことじゃけん」つていう台詞を皆さん気に入つていただいて、それを、こんなふうにTシャツにしていたんだです。

（そういうことじゃけん の文字がプリントされているTシャツを披露）

自分の言葉がTシャツになるつて言う喜びはJ.C.ならではのな。ほんとありがとうございます。いじつてくれて、からかってくれて、本当に楽しかったです。ありがとうございます。

そしていよいよ私も卒業生理事、初理事というつて、申し訳ないですけど、この1年は、いま加度副理事長と石森副委員長はじめみんなすごいメンバーに恵まれて活動させていたでいるんですけど、今の委員会に関しては僕もちよと思ひ入れがあるんで、これは12月、事業全部終わった後に改めて皆様にお礼の言葉をさせていただきます。この場では割愛させていただきます。で、最後になるんですけど、こんな中途半端な自分なんですけど、結局J.C.入つてよかったなつて今は素直に思つていて、それは是非ここにいます皆さん、まあおそろく僕より先輩のかたもいるので解つてらつしやと思うんですけど是非「理事を」味わつていただきたいと思ひます。家庭、仕事、いろんな背景が皆さん違いますから、おそろく、何が楽しくて正しいんだつて言うのは無いんだと思ふんですけど是非。僕はたまたま良かったなつて言う風に卒業して行き、なんだつたら今、卒業するのが寂しいぐらいで、来年も今年僕がやつた事業を引き継ぐ方とかそういう人たちは惜しみない支援をさせていただきたいなつて言う風に思ひます。なんで、やっぱり存分に楽しんで卒業を迎えていただきたいと思ひます。以上です。

近頃は朝晩がだいぶ涼しくなり、過ごしやすい季節となりました。季節の変わり目ですが、体調を崩さないように気を付けていきたいものです。

また、先日の連休中に街中を歩いていますと、どこかの庭先からキンモクセイの良い香りがただよってきました。五感から秋の訪れを楽しみたいと思ひます。

（記事：藤川 彩）

編集後記

HP

facebook



卒業生スピーチ



高垣 利将

はい、失礼いたします。みなさん、こんばんは。

まず、入会してもう13年というところで、ここまで、当時から考えたなら、こんなにJC活動をするとはいっていませんでした。というのも、入会したのも、なかなか断れず、じゃあ、一年だけとりあえず入会してみようかな、という気持ちでJCに入会させていただきました。

まあ、そんな気持ちで入っていたので仮入会員のときや、新入会員のときは、例会も、合同委員会も、ほとんど行っていないでいました。そして二年経ったので、もうこれで辞めようかなと思いついて、当時の委員長の方に、電話でとりあえず一年だけしてもう辞めようと思っていました。ということも伝えました。その委員長の方は、全く知らない方ではなく、「時間くらい色々」と親身に話をしてくださいます。じゃあもう一年だけ様子を見てみようかなというところで、また活動を始めました。そのときも、もう一年、とりあえず入ったところかな、という気持ちでしたが、同期の方が二人、委員会にいまして委員会メンバーも、若い方が多く、色々な方と話をさせていただき、だんだん楽しくなってきたんですが、JC活動に対しては、そこまで、まだ魅力を感じてなかったんで、例会、合同委員会にはあまり行くこともなく一年を過ごしました。今考えてみると、当時の委員長の方々には、本当にご迷惑を掛けたいと思っております。またそこで引き留めていただいていたなら、この場にいることもなかったと思いますので、本当に感謝しております。

そして、それから2年連続で、同期の方が委員長をされるということだったので、同期の方が頑張っているなら、少しでも協力していければな、ということ、だんだんJC活動に参加するようになってきました。

この13年間、本当に色々な経験をさせてもらい

ました。

セクレタリーをやらしてもらったんですけど、当時、6月例会をベイトウンで開催するということがありました。そこで、セクレタリーといっても総務委員会と同じようなことをやっていたので、備品を持って行き設置をしました。その6月例会は、ベイトウンで神輿を担ぐという例会だったので、駐車場スペースを少し開けとかなんといけないうことで、隣の方の駐車場に車を置いていました。例会が終わって備品を取りに行くのに、とりあえず車を持って来ようかということ、で駐車場に停めていたところに取りに行ったんですけど、確かにここに停めてたはずの車がなくて、いつもと違うところに停めてたんで「あれ、駐車場ここじゃなかったかな。」とか思いながら、もしかしたら誰か車持ってきたらいいかなと思いついて、戻って、「俺の車知らん？」ということ、でみんなに聞いたけど、「いや、知らんよ。よそ停めたんじゃないん。」みたいな感じで。「あれ、おかしいな。」と思つて。「まあ、とりあえずもう一回じゃ見てくるわ。」と車を見に行ってみましたけど、やっぱりないなと。なんか自分でも「あれ、俺車で来てないんじゃないか。」とか思いついて、でも、鍵は俺持ってるし、備品持ってきたよなと思いついて、そんなこんなで、とりあえずね、浩太君の車で、ベイトウンの周りを巡回しながら、キーレスボタンを押しながら、ウィンカーランプ光らんかな、ウィンカーどっか光つてない？って、もうわけわからなくなり、家に電話して「俺車で今日来たかな？」「多分車ないけ行つとんじゃないん。」みたいな感じで、結局、車は盗まれていました。でも、自転車とかね、バイクなら、ここに停めとつたはずのものがなかったら、「あ、盗まれた。」と思うんですけど、まさか車を盗まれるとは思っていませんでした。備品等を持ってきたんですが、6月例会は神輿を担ぐという例会だったので、ネームプレートを使わないというところで、車の中に、みんなのネームプレートが入っているボックスを入れていたので、どうしようかなと考えよつたんですけど、盗難届を出して、車両保険の手続きをしようかというときに、警察の方から「車が見つかりました。」と電話が来ました。そのとき軽バンで行つてたんですけど、みんない

車に乗ってるのに、なんで俺の軽バンを盗んだんだかなと、不思議だったんですけど、とりあえず車を取りに行つて。とりあえずネームプレートのボックスがあるかどうかの確認をまず一番にし、無事にあったんですけど。その後警察の方に「ちよとトランクの方にきてくれ。」と言われて、トランクの方に行つたら、おまけで、トランクいっぱい大きな金庫が積んでました。そこでやつとわかつたんですけど、なんで軽バンを盗つたのかっていうのが。金庫を強盗に行つて積んで帰るために、たぶん軽バンがちよとよかつたのだと思つてました。ほんと、みなさんも盗難には気を付けてください。

それから、委員長もやるとは思っていませんでしたが、委員長をさせていただきました。このときは、本当に大変で、みんなにも色々気を使うことも多くあったんですけど、自分の思いもそのときに色々出せましたし、本当にこの一年がJC活動の中でやりがいもあつたし、楽しかった二年だったと思つて。そして、副理事長もやらせていただいたんですけど、村上忠正先輩、そして、太田雄介君、そして、川原浩太君。本当この仲の良いメンバーでやらせてもらい、色々大変だったんですけど、楽しかったです。

まあ、そんなときですかね、JC活動を、忙しくやつてきたときに。これ多分何人か経験されたことあるかなと思うんですけど。家で休みの日に、ゆつくりしてたんですけど、子どもたちがね、外で遊んでいました。多分、ごっこ遊びっていうのをやっています。そこで、うちの子どもが多分お父さん役かなやつとつたんじゃないんかなと思うんですけど、突然、外から、「俺JC行つてくる。」って。「そこは仕事だろ！」と思つたんですけど、声が聞こえて。次の週あたりぐらいですかね、近所の子どもたち全員、仕事行つてくるじゃないし、「俺JC行つてくる。」「JC行つてくる。」みたいな感じで。一時、うちの近所でJCブームになってましたね。

まあでも、大きくなつてね、JCの魅力に気付いてもらつて、またその子らが入会してくれればと思つてます。

そして、昨年、工藤委員長のもと、委員会メンバーとしてやらさせていただいたんですが、本

に今まで聞いたことのないような、一年間、例会出席100%ということ、を成し遂げられましたね。半年くらい経つたぐらいからですかね、みんなが「これちよと休めんじゃん。」というプレッシャーが半端なかったですね。

そんな中、もう最後の最後、卒業例会、これでね、全員出席して、本当の一年間100%達成というときに、四日前に私が盲腸になりました。でもさすがにちよと最後の最後だし、休めないというところで、とりあえず薬で盲腸を散らしてもらつて、とりあえず例会には出席することができましたけど、その日すぐ病院に行つて、部屋がなかつたんで入院できなかったんですけど、痛み止めを打つてもらい、次の日の朝、緊急手術をして、無事になつてきました。

そのときに、最後、理事長が横断幕を作つてくれて、みんなだね、「100%出席おめでとう」という写真を、みんな撮つていまして、私がいるわけでもないんですけどね、事務局の方で確認してみてください、いるはずのない私が、横断幕の上に顔だけ、合成で作つてもらつたので、足はないんで、ちよと若干心霊写真みたいな感じで写つていまして、一回見てみてください。

最後、河原研介君が昨年から理事をやるというところで、頑張つて来られて、今年委員長をすることになりました。主推薦である私も、河原研介君が委員長をするんなら、少しでも支えてあげられるかなと思つて、この委員会に配属させていただきます。最後にこの委員会でも過ごさせてもらいメンバーにも恵まれ楽しくさせていきたいと思います。私も最後、河原委員長役に立つことができたので、本当に心残りがありません。

最後、本当に色々な経験をさせていただきまして、多くの方と巡り合うことができました。私のJC活動・生活は、本当に楽しかったと思つてます。みなさんに本当に感謝をいたします。

みなさん、JC活動を楽しんでやっていますか。というのも、天才是努力家には勝てないと聞きますが、努力家は楽しんでやっている人には勝てないという言葉があります。なんにしても、楽しみながらやつていかないと、やりがいもなく、ただ辛いだけになっていきます。40歳までしかJCはあ

りませんので、存分に、みなさん楽しんで活動して
いていただければと思います。
以上です。



山本 慎也

※スピーチを始める前に
ダンスを披露。

(BGM: RADIO F
ISH『PERFECT H
UMAN』)

ごめんなさい。ええと、二
年前のクリスマス会で、本当は委員会メンバーでこ
の『PERFECT HUMAN』をやろうと思つて
練習してたんですけども、あまりにもまとまら
ないのでピコ太郎をやることになっちゃいました。
本当はこっちがしたかったんです。

改めまして、山本慎也です。知らない方もい
らっしゃると思うので自己紹介から。長所はです
ね、自分で言うのもなんですが、優柔不断などこ
ろと、ポジティブなところだと思います。短所の方
は、まあちょっと酒癖が悪いところと、時間にルー
ズなところと、みんなの前でしゃべるのが非常に苦
手なところです。好きな食べ物は卵料理全般、嫌
いな食べ物辛いもの、香りが強いものです。仕事
の方は、まちと人を明るくすることを心がけて
毎日仕事をしています。

それでは、振り返るといつても(この日の配布
資料のプロフィール欄が)2ページもある長いもの
なので、まずは人会したきっかけから。人会した
きっかけは、ある日仕事から会社へ帰って来たた
ら二人の大人の方達がいらつしやうて、「僕への来客で
はないな」と思っていたら僕へのお客さんで、お話
を聴いてみると、何やら団体への勧誘で、月に二回
集まる会があつて、講師がいらつしやる会もある
し、とにかく入つてくれないかというものでした。
学校を卒業したばかりですし、僕は訳が分から
ないし、講師の方のお話とかがあつても全く興味
がないと寝てしまいますし、「そんな会入りませ
ん」と言ったら、「寝てもいいし、すぐ辞めることも
できるからとにかく入つて」と言われ、「そうなん
ですか、じゃあ分かりました」と言つて入ったん
です。

当時あまり行かなかつたんですけど、時々行け

ば、委員会は夜の11時〜12時までやつて、それか
らご飯を食べて、それから新開へ飲みに行つて、そ
れから締めのご飯を食べて…。委員会で深夜2時
とか3時になる中で、20代前半の僕が40歳近い
大人の方達のお話を聴いても、何も楽しくないん
ですよ。『ほんと楽しくないなあ』と思いが
ら、でもちょっと街へ出れば知っているOBの先輩
やJCメンバーに会う中で、どうやつて辞めるか
も分からないし、辞めると言う勇気もなく、だ
らと続けていたんですけど、そして最初の委
員会(幹事)の時に、「委員会旅行を企画してく
れ」と依頼をされまして。委員会旅行は香川だ
うたんですけど、今みたいに現在地と行き先を入
力すればすぐに所要時間・料金ルートが出てく
るような検索ツールもなく、「大体こんなもんか
な」と思いつながら旅行の行程表を作ったんです
けど、尾道出発が9時で、9時半香川着ゴルフ開始
などと書いていて、「えっ、これどうやつて行くん
? 飛行機で行くんか? すごいえのう」なんて言われ
ながら香川へ行きまして。地図上で見たら近かつ
たんですけど、ホテルから40分かかる所で二次会
をして、二次会はホテルから5分のところでした
んですけど、やんやと言われまして。次の日は
るぶで人気ナンバーワンのうどん店に行きたかつ
たんですが、当時はカーナビも今ほど正確じゃな
いし、とにかく地図を焼きまくつて、見ながら行
たんですけど、凄く山奥でめっちゃ迷つて、凄く怒
られながら行きました。その時幹事は二人だつた
んですけど僕だけ怒られ役で、最初の頃から本
当に怒られてましたね。

続いてなんですけど、なぜかあんまり出ていな
い、活躍していない僕が、平成16年の会員大会実
行特別委員会というところに配属されて、その
年の会員大会は式典を尾道市公会堂で行い、懇
親会を千光寺公園の芝生広場に足場を作つて行
うという内容でした。公会堂から千光寺公園へ
は歩いて上がるという計画だったんですが、結構
道が複雑じゃないですか。「他LOMの方は分か
らないだろうから、駐車場の誘導をしつかりや
つてくれよ」と任命されたんですけど、何をやつた
らいいのかわからず結局何もせず、大会は6月

だったんですけど、5月のゴールデンウィークに呼
び出されまして。「間に合わんけえとにかくや
れ、すぐ来い」と凄く怒った声で電話がありまし
て、「分かりました、行きます」と事務局へ行つた
んですけど、皆さん先輩から言われたことはあ
りませんか、JCを思いっきりやりやあええ、
命は盗られんけえとか。僕はその時の2泊3日
の事務局生活で本当に(命を)盗られると思いま
した。あの時は本当に怖かったです。

やがて怖い先輩方がいなくなつたら、僕の穏や
かなJC生活が始まり、のらりくらりとずつと
やつていたんですけど、平成24年の檀上先輩の委
員会の時に、この委員会は凄く段取りが良くて、
パツパツと9月くらいに全事業が終わつて、「おい
慎也君、この委員会もうやることないけえ何
か考えてくれ」という依頼を受けました。その
当時どこからともなく「街コン」という言葉が耳
に入つてきてですね、「街コンって尾道で出来るの
かなあ、どうなんだろう」と思いつながら、自分
で興味を持って、発祥の地の群馬県前橋市に行つた
り、広島で開催した所へ行つてお話を聴いたり
と、色々やつたんですけど、結局時間オーバーで出
来なくて。まあ何事もなかつたんですが、それか
ら「ああ、JCではこんなことも出来るんだ」と
ちょっと気になりはじめて、数年後に目立たせて
もらつて初めて理事になりました。

副委員長としてたなち(田中良幸君)の委員
会に配属されたんですけども、この委員会がで
すね、はじめに新年宴会を担当したんですけど、
新年宴会の途中で委員長は片目が見えなくな
り、その状況でみなと祭を迎えることになり、事
業があまりにも決まらず副理事長が委員会のグ
ループLINEから脱退したりと本当に波乱万
丈な委員会だったんですけど、今となつてはいい思
い出です。

続きまして、平成28年に僕が委員長だった時
の話なんですけど、副委員長が川原浩太さんと、正
直何と言いますか、天真爛漫で異端児の浩太さ
んが僕の中では最初若干苦手だったんです。でも
一緒に委員会を進める中で、悩んでいる時は真剣
に考えてくれて、僕の中身の薄い委員会を
毎回21時で切るんですね。で、「じゃあみんな」緒

に飯食に行こうや」と言つてアフターも盛り上
げてくれて、本当に楽しい委員会でした。(家族
会で)百島には行くことが出来なかつたんですけ
ど、尾道駅での事業も楽しかつたし、現OBの今
中さんと(山本)治永さんはいつも厳しく言つてく
れてましたし、太田さんは洪い声で意見を言われ
ていたし、浩太さんは浩太さんで、おかもつちは今
年も仲良く一緒にいますし、洋樹さんは、そろそ
ろ理事になつていいのかなと思います。ゆつていは
今どうしてるのかちょっと分からないですけど。
あとは雄太さんと圭ちゃんですけど、若くして頑
張っているからずつと見ていたかつたんですけど、
はい、先に卒業します。

そして今年なんですけど、歌副実行委員長の
下で卒業予定者として扱つてくれるんですけど、
ど、何というか、嬉しいとかいうんじゃないで、く
すぐつたというか、さっきのお話にもありまし
たけど僕も若干なんか悲しいなあという感じで
今年も過してしまいます。でも、もつと全力でサポ
ートして、あと事業が二つも残っている訳ですし、委
員会旅行が干渉から高知になるように僕は必死
で頑張りますので、是非高知でお願いします。

最後になりますが、18年間のらりくらりと過
ごしてきて、ちょっとだけ偉そうなことを言え
ばですね、まず理事の方へ、色々なトップがいて良
いと思うので、自分らしくやつたらどうかと思
います。僕は委員会で周りに非常に意見を求めま
したし、「僕はこう思つとるんじゃないけど、どんな感
じ?」と凄く訊いてたと思います。でも、他の委
員長であれば、「俺はこう決めとるけえついて来
てくれ、頼むわ」という様なオラオラ系の人もい
ると思います。それはそれで、別に色々なトップが
いて良いと思うので自分らしく頑張つてほしいと
思います。まだ理事ではない方はですね、もつと
もつとJC活動に参加すれば友達も出来ると思
います。そして尾道も好きになると思います。
そうしたら、自然とまちづくりが出来て、しっか
りと楽しくJCライフを過ごせるんじゃないかな
と思います。

これで僕の18年間のJC生活におけるスピーチ
を終わります。最後までご清聴ありがとうございました。